

第 42 回(2010 年度)
内藤記念海外学者招へい助成金申請要領

趣 旨	人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う外国の研究者を招へいする際の費用を補助するものである。												
候 補 者 資 格	<p>1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・意欲的に取り組み、国際的に高い評価を得ている外国の研究者を招へいする際の当該学術集会組織委員長(ただし当財団の理事・監事・評議員・選考委員は申請できない)</p> <p>2) 同一年度の同一学術集会に招へいする場合の申請は 1 件とする。</p> <p>3) 招へい時期が下記の期間内であること。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">招へい時期</th> <th style="text-align: center;">申請区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2011 年 1 月 1 日～2011 年 6 月 30 日</td> <td style="text-align: center;">前期</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2011 年 7 月 1 日～2011 年 12 月 31 日</td> <td style="text-align: center;">後期</td> </tr> </tbody> </table> <p>4) 助成が決定した後、申請招へい学者が来日中止の場合は助成を辞退していただきます。</p> <p>5) 当財団の選考委員と同一の教室(講座)に所属する者は申請することができない。</p>	招へい時期	申請区分	2011 年 1 月 1 日～2011 年 6 月 30 日	前期	2011 年 7 月 1 日～2011 年 12 月 31 日	後期						
招へい時期	申請区分												
2011 年 1 月 1 日～2011 年 6 月 30 日	前期												
2011 年 7 月 1 日～2011 年 12 月 31 日	後期												
推 薦 者	<p>※ 財団ホームページの Q&A「推薦者の欄」を必ずご覧下さい。</p> <p>1) 大学関係 ①大学院：研究科長、②学部：学部長、③研究所：研究所長、④⑤⑥以外の大学組織(研究センター、研究施設等)：学長 ただし、医学研究科・医学部がある場合などは、どちらか一方の推薦者とする。 注) センター長、施設長、病院長は推薦者となることができない。</p> <p>2) 大学以外の研究機関：当財団の理事会が承認した基礎研究機関の代表責任者(※該当する研究機関には関連書類を送付しています)</p> <p>3) 当財団の理事・監事及び評議員(ホームページ参照 URL http://www.naito-f.or.jp/)</p> <p>4) 当財団の指定した学術集会の代表者(※該当者には関連書類を送付しています)</p>												
申 請 方 法	<p>推薦者が 1)、2)、4) の場合：申請者 ⇒ 大学・研究機関 事務 ⇒ 財団</p> <p>3) の場合：申請者 ⇒ 当財団の理事・監事・評議員 ⇒ 財団 (※3) の場合のみ、財団への申請書類の送付は、申請者、推薦者のどちらからでも良い) 当財団ホームページの「助成金事業」に記載の手順に従い申請する。</p>												
締 切 日	前期：2010 年 6 月 1 日(火) 後期：2010 年 10 月 1 日(金)(いずれも財団必着)												
選 考 方 法 採 択 件 数	<p>選考委員会で審査し、評議員会の同意を得て、理事会で決定する。</p> <p>採択件数：前期・後期各 10 件以内(予算範囲内)</p> <p>採否の結果は、前期：2010 年 10 月、後期：2011 年 2 月に申請者および推薦者に通知する。</p>												
助 成 額 送 金 時 期	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">エリア</th> <th style="text-align: center;">助成額(万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">中東・アフリカ</td> <td style="text-align: center;">80</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">米国・カナダ(西海岸除く)、ヨーロッパ</td> <td style="text-align: center;">60</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">米国・カナダ西海岸、オーストラリア、ニュージーランド</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">東南アジア、インド</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中国、台湾、韓国</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">前期：2010 年 12 月、後期：2011 年 3 月</p>	エリア	助成額(万円)	中東・アフリカ	80	米国・カナダ(西海岸除く)、ヨーロッパ	60	米国・カナダ西海岸、オーストラリア、ニュージーランド	50	東南アジア、インド	30	中国、台湾、韓国	20
エリア	助成額(万円)												
中東・アフリカ	80												
米国・カナダ(西海岸除く)、ヨーロッパ	60												
米国・カナダ西海岸、オーストラリア、ニュージーランド	50												
東南アジア、インド	30												
中国、台湾、韓国	20												
注 意 事 項	<p>1) 申請書用紙は必ず両面印刷する。</p> <p>2) 組織委員長及び招へい学者が明記されている当該学術集会プログラム・パンフレット等を、申請書と共に必ず提出する。</p>												
報 告 の 義 務	<p>1) スポンサーについて：当該学術集会で海外学者による招待講演が行われる場合は、プログラム等に当財団(英文：The Naito Foundation)の助成によるものであることを明記する。なお、プログラム等を一部送付する。</p> <p>2) 学会成果報告書及び使途報告書について：組織委員長は招へい終了 1 ヶ月以内に所定用紙にて必ず報告する。</p> <p>3) 来日中止の場合について：招へい学者が来日中止の場合は、助成を辞退していただきますので連絡ください。</p>												

◎ 申請書記載内容に変更が生じた場合は、速やかに財団事務局に連絡ください。

◎ 助成金申請要領・申請書・報告書・Q&A はホームページ (<http://www.naito-f.or.jp/>) 内「助成金事業」に掲載しております。